

VI 現職教育計画

1. 学校研究主題

課題解決に向け、自分の思いや考えを適切に表現できる児童の育成

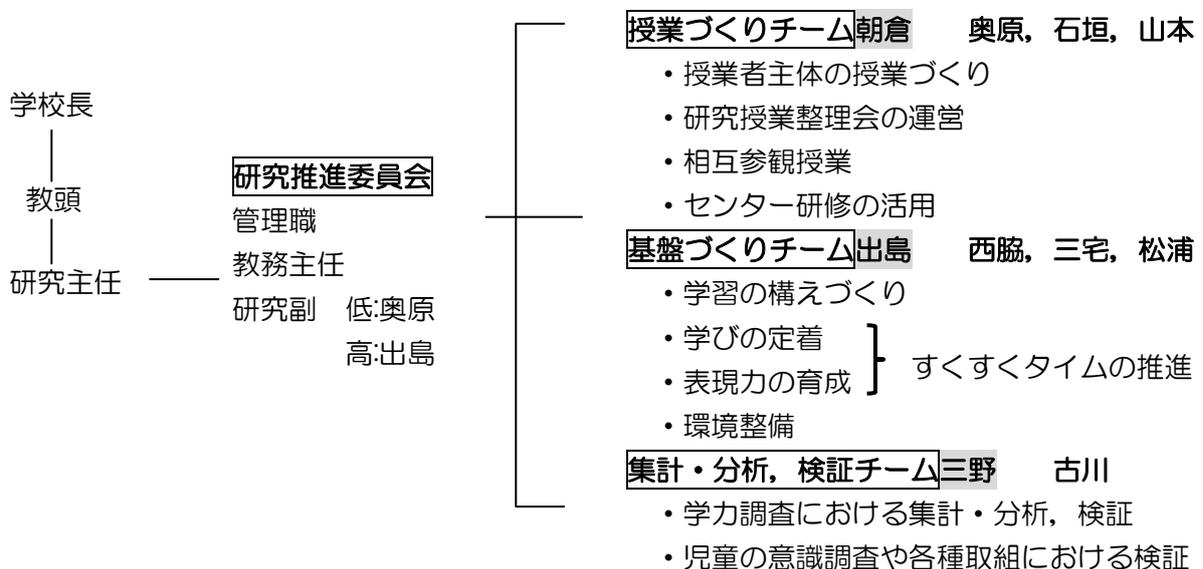
～学習者主体の授業づくりを通して～

2. 学校研究主題設定の理由

昨年度は、対話を通して自分の思いや考えを表現できる児童の育成をめざした。日々、対話場面を設定することで、児童らも対話の必要性を感じ、自然と対話を始める児童が見られるようになった。また、対話を通して自分の考えをもち、表現しようとしようとする児童も増えた。昨年度の1年間で、児童同士対話で学び合う素地が養われた。

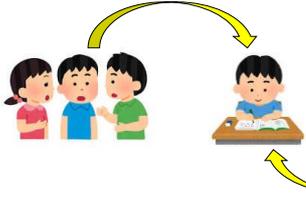
一方で、依然として自分の考えをもてない児童、考えをもてても表現することが難しい児童が少なくなく、表現力に差があることが課題としてあげられた。また、授業づくりの面についても、一斉学習に対して対話学習の時間が短いことから、児童が考えを表現する機会が十分でないことが課題としてあげられた。そこで、自分の考えをもち表現できるようにするためには、「何で学ぶのか(学習ツール)」「誰と学ぶのか(協働相手)」、「どのように学ぶのか(学習方法)」、「学び方」を児童が自己決定することが必要であると考えた。また、児童に学びを委ねる時間を確保し、自ら学びを進めていくことが重要である。

3. 研究組織



4. 研究全体構想図

学習者主体の授業づくり

つかむ	
考える 学び合う	<p>【アウトプット①じっくりタイム】 ～自分の考えを表現する～</p>  <p>【ぐんぐんタイム】 ～児童自ら学びを進める～</p> 
深める	<p>【アウトプット②】 ～自分の考えを深め表現する～</p> 
ふり返る	

自己決定

なにで

だれと

どのように

研究の重点1

ぐんぐんタイムの手立て

～自ら学びを進めるために～

- ・学習ツールの選択肢を提示
- ・考えや立場の可視化
- ・学習方法の確認 等

自分も友達も
わかった！できた！

研究の重点2

アウトプット②の手立て

～考えを深め表現するために～

- ・キーワードを使ってまとめを書く
- ・自分の考えをまとめ直す
- ・問題を解き直す
- ・適用問題に取り組む 等

学習の構えづくり

- ・ぱっちり7
- ・強化週間の設定

学びの定着

- ・すくすくタイムを生かした基礎基本の定着
- ・ちょっこりテスト

学びの土台づくり

環境整備

- ・教室内掲示提案
- ・研究に関する掲示物

表現力の育成

- ・ロングすくすくを生かした、話す・書く活動
- ・学び集会での表現活動

重点項目 および 取組内容		
4	校内研修	学校研究の全体計画の起案と検討 学力向上ロードマップの確認 学習規律の確認（研究二部会） 指導案の形式検討
5	校内研修	授業整理会の進め方
	授業研究	要請訪問 4年 算数（朝倉）
6	授業研究	計画訪問 指定授業 5年 社会（出島）
7	校内研修	一学期の研究についての成果と課題 ・学力向上ロードマップの見直しと修正 ・児童アンケートの分析による成果と課題 ・対話力、表現力の育成について成果と課題
8	校内研修	2学期の取組に向けての共通理解
9	授業研究	スマイルサポート あおぞら 国語（松浦）
	授業研究	要請訪問 2年 算数（西脇）
	授業研究	スマイルサポート 1年 国語（石垣）
10	授業研究	要請訪問 3年 算数（奥原）
11	授業研究	要請訪問 わかくさ 算数（山本）
	授業研究	スマイルサポート 6年 算数（三宅）
12	校内研修	学力調査の分析（自校採点の結果から） ・県評価問題（5年：国語・算数・理科） ・結果の分析から見る今後の重点課題 二学期の研究についての成果と課題 ・学力向上ロードマップの見直しと修正 ・児童アンケートの分析による成果と課題 ・東湊スタイルによる成果と課題
1	授業研究	要請訪問 3年 理科（三野）
2	授業研究	要請訪問 6年 家庭（古川）
	校内研修	市学力調査の分析 ・市学力調査（5年：国語・算数・社会・理科）（他学年：国語・算数） 結果の分析から見る今後の重点課題
3	校内研修	研究のまとめ／成果と課題の検証／次年度の研究テーマについて検討